

令和7年度 第2回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和7年8月1日（金） 13時30分～16時00分
2. 場 所：アイパル香川（香川国際交流会館） 3階 第5、6会議室

3. 出席者：委員（敬称略）

委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）
副委員長 末永 慶寛（香川大学創造工学部 教授・学部長）
委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）
池田 弘子（(株)人間科学研究所 所長）
福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）
國村 一郎（(一社)香川経済同友会 専務理事）
玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（全委員7名出席）

4. 議 事

(1)再評価対象事業

下記の再評価対象2事業について、事業主体から、現在までの進捗状況や長期化している理由、事業の必要性等を説明し、審議を行った。

① 大規模特定河川事業 高瀬川水系 [事業主体：香川県]

② 農山漁村地域整備交付金事業 大規模農道西讃南部 [事業主体：香川県]

(2)再評価対象事業の審議内容

①の事業は、進捗状況等を具体的に確認するため、現地確認を行い、より詳細に審議を行う。また、②の事業は、対応方針案「事業継続」が妥当と判断された。委員からの主な意見は、以下のとおり。

① 大規模特定河川事業 高瀬川水系

・施設整備には長期間を要するため、その間ソフト的な対応も可能となるようハード対策とソフト対策、両面から減災に取り組んでいただきたい。

② 農山漁村地域整備交付金事業 大規模農道西讃南部

・用地買収も完了しているので、早期に完了できるよう事業を進めていただきたい。

(3) 事後評価対象計画

下記の事後評価対象2計画について、事業主体が自ら行った評価の妥当性を審議した。

③ 社会資本総合整備計画港湾施設の適切な維持管理による港湾機能の確保
[事業主体：丸亀市]

④ 社会資本総合整備計画香川県における安全・安心・快適な住まいづくり、
まちづくりの実現（第3期） [事業主体：香川県他17市町]

(4) 事後評価対象計画の審議内容

各計画の事業効果の発現状況として、計画番号③④において、「十分な効果があった」と事業主体が評価したこと、また計画番号④において計画を「継続する」としたことについて「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの主な意見は、以下のとおり。

④社会資本総合整備計画香川県における安全・安心・快適な住まいづくり、
まちづくりの実現（第3期）

- ・民間住宅耐震改修、耐震診断等、個人で補助を受ける際の手続きが多く敷居が高いため、潜在的な需要を逃していると感じる。耐震化率向上を考える際、このような視点でも考えてほしい。